

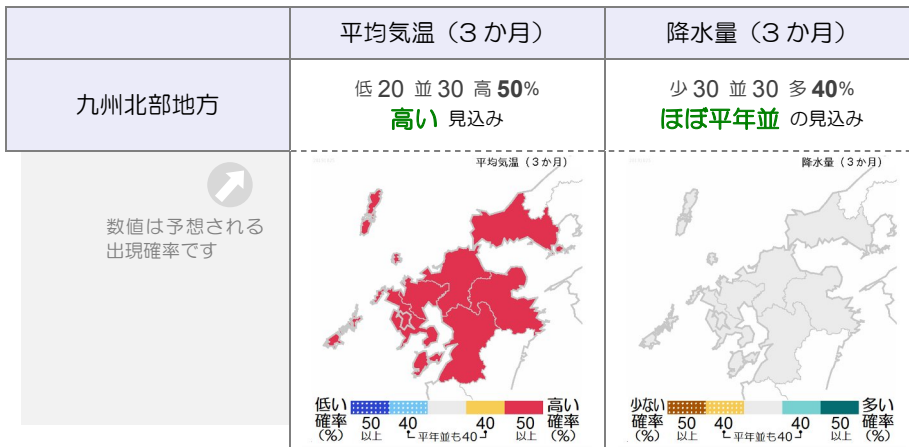
向こう3か月の天候の見通し 九州北部地方 11月～1月

予報のポイント

- 寒気の影響を受けにくく、向こう3か月の気温は高いでしょう。

〔 この時期の天候に影響の大きい北極振動の予想は難しく、現時点では考慮できていませんので、予報には不確実性があります。常に最新の1か月予報等をご覧ください。 〕

3か月の平均気温・降水量


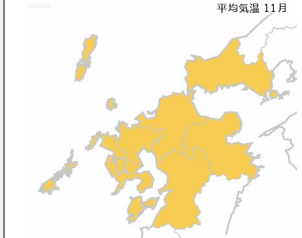














月別の天候

11月	12月	1月
天気は数日の周期で変わ るでしょう。	平年と同様に曇りや雨ま たは雪の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨ま たは雪の日が多いでしょう。

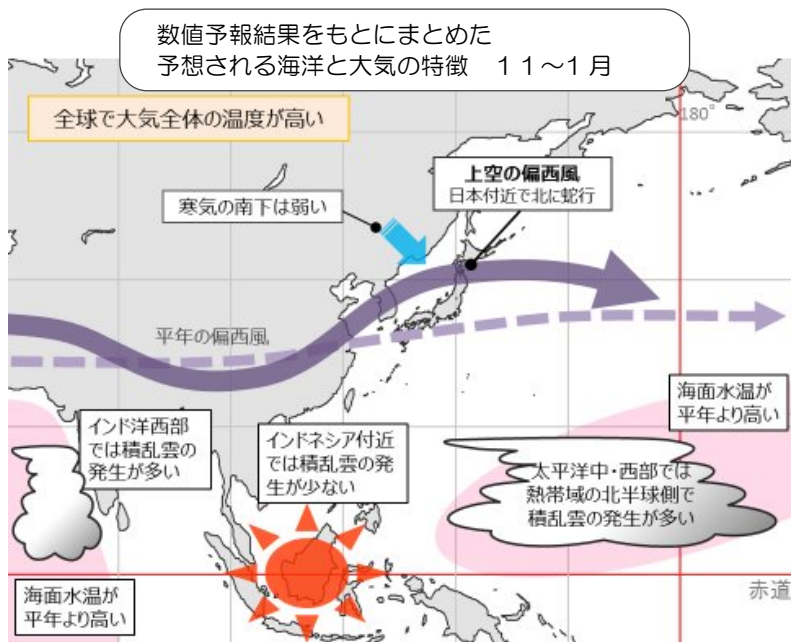
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
九州北部地方	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
 数値は予想される 出現確率です	 平均気温 11月	 平均気温 12月	 平均気温 1月
	 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)	 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)	 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)
	7 平年並も 40 J	7 平年並も 40 J	7 平年並も 40 J
	降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
九州北部地方	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される 出現確率です	 降水量 11月	 降水量 12月	 降水量 1月
	 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)	 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)	 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)
	7 平年並も 40 J	7 平年並も 40 J	7 平年並も 40 J

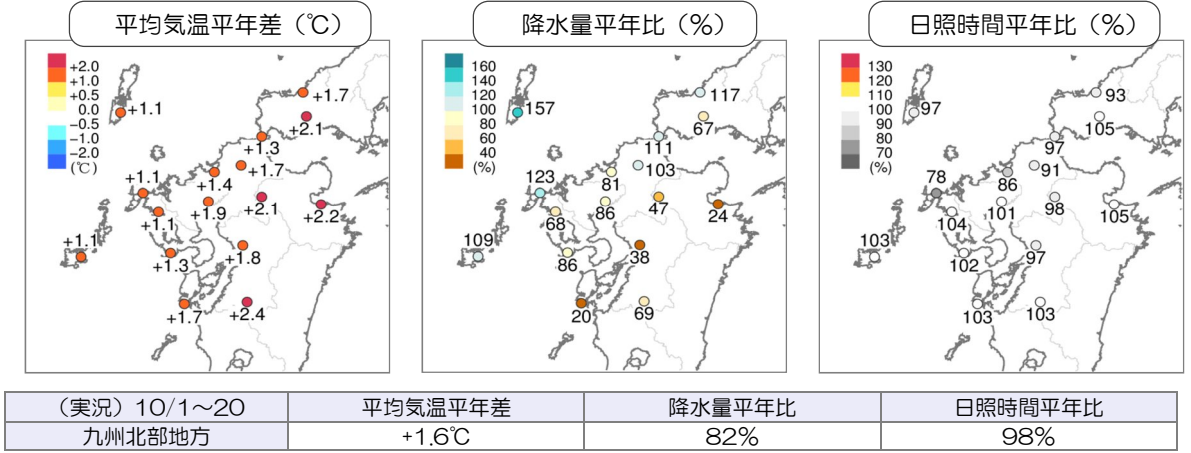
予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- インド洋西部では、海面水温が平年より高く、積乱雲の発生が多いでしょう。
- 太平洋の中・西部では海面水温が平年より高く、熱帯域の北半球側では積乱雲の発生が多いでしょう。
- 一方、インドネシア付近では積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空の偏西風は日本付近で北に蛇行し、寒気の南下は弱いでしょう。
- これらのことから、全国的に寒気の影響を受けにくく、気温は高いでしょう。



今月の天候経過（実況） 10/1~20

月のはじめは台風第18号や湿った空気の影響を受けて曇りや雨となりましたが、その後15日ころまでは高気圧に覆われやすく晴れた日が多くなりました。15日以降は前線や湿った空気の影響を受けて曇りや雨の日が多くなりました。気温は一時的に下がる日もありましたが平年より高い日が多くなりました。期間平均の気温は平年を上回りました。この期間の降水量は平年を下回り、日照時間はほぼ平年程度でした。



参考データ

●平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
九州北部地方	平年差：0.0~+0.5℃	平年差：-0.5~+0.8℃	平年差：-0.2~+0.6℃	平年差：-0.2~+0.4℃
福岡	9.8~10.2℃	13.3~14.4℃	8.7~9.5℃	6.4~7.2℃

	降水量 3か月	降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
九州北部地方	平年比：88~105%	平年比：73~120%	平年比：66~118%	平年比：74~103%
福岡	181.3~222.0mm	61.1~103.7mm	43.8~66.2mm	49.1~69.0mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981-2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

●晴れ日数と降水日数の平年値

	11月		12月		1月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
福岡	15.9日	8.3日	13.5日	8.5日	11.2日	9.1日

「晴れ日数」は「日照時間が日照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

●確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い）	解説
高い（多い）確率が50%以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
低い（少ない）確率が50%以上 (40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み 低い（少ない）見込み

寒候期予報の見直しについて
 新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、9月25日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。